

2022年度 インクルーシブ・リーダーシップセンター(CIL) 研究プロジェクト助成 募集要項

本助成は、インクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョンに関する研究を支援・推進すること、そしてその成果を世界的に評価の高いジャーナルに掲載し知見を広く社会と共有することを目的とし、募集をおこないます。

CILは、経営、マーケティング、経済、金融、持続可能性、政治、観光、メディア、言語学、教育などの様々な分野で、インクルーシブ・リーダーシップとインクルージョンに取り組む研究プロジェクトを歓迎しています。

インクルーシブ・リーダーシップとは

「組織は異なる個性・能力・価値を持つ個で成り立っている、というものの見方」と、「それを通して様々なバックグラウンドを持つ個人個人が集団・組織・コミュニティにたいして帰属意識、参画感を抱き、それぞれの形で貢献するプロセス」の要素を併せ持つものです。よってインクルーシブ・リーダーとはインクルーシブな環境を作り出し、多様性を繁栄の活力とし、ビジネスや社会の課題を解決につなげることができる個人ということになります。

インクルーシブ・リーダーシップセンター (CIL) とは

文部科学省の『私立大学研究ブランディング事業』に採択されたことを受け、2019年に設立したRCAPS附属研究センターです。インクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョンに関する研究や応用を推進し、そこで得られた知見を広く社会と共有することで、APUの研究の評価の向上をはかり、この分野のリーディング・ユニバーシティとしてのAPUの評価を高めることを目指しています。

詳しくはこちら：<https://www.apu.ac.jp/cil/>

1. 応募資格

申請者（研究代表者）は以下の申請資格を満たすものであること。

- (1) 本学専任教員（雇用期間の定めのない教員、任期制教員、特別招聘教員、特別雇用教員、継続雇用教員、特任講師、嘱託講師）であること。
※CILの研究助成いづれかに採択され、2022年度が助成期間に含まれる研究代表者からの申請は不可とします。
- (2) 以下3つの重点項目いづれかに資する研究であること。
 - (A) インクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョンの理論と実務上のギャップ解消
 - (B) インクルーシブ・リーダーシップおよびインクルーシブ・ティーチングの教授法開発およびその実践
 - (C) インクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョンの理論的枠組みの構築

※補足事項※

- ・個人／グループどちらでの応募も可能。研究メンバーには、上記専任教員以外の本学教員や学外者を含むことができます。
- ・複数のプロジェクトへの参加可。ただし代表研究者になれるのは1件のみ。
- ・本助成は英語での申請のみとします。
- ・CILは、Scopusや以下のジャーナルランキングに掲載されている査読付きの高品質な国際ジャーナルへの投稿を狙いとし、支援しています。
The University of Queensland (UQ) ranking, Australian Business Deans Council Journal ranking (ABDC) or Association of Business Schools ranking (ABS)
これらの評価のいづれかにおいて、B以上 (UQ, ABDC)、もしくは3以上 (ABS)の評価を獲得しているジャーナルを評価の高いジャーナルと定めま
す。各ジャーナルの詳細なランキングは以下を参照してください。

Journal Quality List: 68th Edition

https://harzing.com/download/jql68_subject.pdf

2. 助成額	<p>【1件あたり上限額】(個人・グループともに)</p> <p>1,000,000円(3プロジェクトを上限)</p>										
3. 助成期間	<p>採択通知日～2023年度末(2024年3月31日)</p> <p>※本プロジェクト助成の助成期間は2年間とします。 ※年度毎の執行期限を設定します。執行期限は採択後に別途通知します。 ※助成期間内に使用されなかった資金は、CILに組み戻します。</p>										
4. 助成金の交付	<p><交付時期> 2022年6月の予定です。</p> <p><使途範囲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額を上限とした実際に支出した経費の執行となります。 ・採択通知日以降に発生した経費を対象とします。 ・採択された課題の研究に必要とされるものとし、その執行についてはAPU研究費執行ガイドブックを遵守することとします。 										
5. 留意事項	<p>(1)本助成と科研費やAPU学術研究助成、IPG運営委員が実施するFIP/DIP*への重複申請は妨げません。 但し、本助成への申請内容が科研費・APU学術研究助成・FIP/DIPと同じまたは類似の研究課題である場合、申請書にて同じまたは類似であることを示し、かつ追加資金の必要性を示すことを求めます。 *ファカルティ・イニシアティブ・プログラム(FIP)及びディビジョン・イニシアティブ・プログラム(DIP)</p> <p>(2)本助成の受給にあたっては、3年以内にコンプライアンス研修・倫理研修の受講を終了(グリーンブックの通読を含む)し、書類を提出している必要があります。未受講の場合は、執行前に受講を終えること。 ※学外の研究メンバーについては、所属機関にて行われる同様の研修を受講していれば本学での研修参加・書類提出は不要とします。</p>										
6. 審査・決定	<p>申請について、下記の評定要素に基づき少なくとも3名の外部レビュー者による審査を行います。 CIL運営委員会はその評価を集計し、外部レビュー者の推薦に基づいてプロジェクトの採否と助成金額を決定します。外部レビューからのフィードバックは申請者と共有します。</p> <table border="1" data-bbox="432 1440 1385 2096"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1440 759 1473">評定要素</th> <th data-bbox="759 1440 1385 1473">項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1473 759 1711">1. 研究課題の学術的重要性</td> <td data-bbox="759 1473 1385 1711"> <ul style="list-style-type: none"> ・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか ・研究課題の核心をなす学術的「問い」は明確であり、学術的独自性や創造性が認められるか ・研究計画の着想に至る経緯や、関連する国内外の研究動向と研究の位置づけは明確であるか ・本研究課題の遂行によって、より広い学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果が期待できるか </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1711 759 1845">2. 研究方法の妥当性</td> <td data-bbox="759 1711 1385 1845"> <ul style="list-style-type: none"> ・研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか ・研究目的を達成するための準備状況は適切であるか </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1845 759 1980">3. 研究遂行能力及び研究環境の適切性</td> <td data-bbox="759 1845 1385 1980"> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究活動等から見て、研究計画に対する十分な遂行能力を有しているか ・研究計画の遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等、研究環境は整っているか </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1980 759 2096">4. インクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン文献への関連性と貢献</td> <td data-bbox="759 1980 1385 2096"> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画がインクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン研究の発展に関連するものか ・研究がインクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン文献に多大な貢献が期待できるか </td> </tr> </tbody> </table>	評定要素	項目	1. 研究課題の学術的重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか ・研究課題の核心をなす学術的「問い」は明確であり、学術的独自性や創造性が認められるか ・研究計画の着想に至る経緯や、関連する国内外の研究動向と研究の位置づけは明確であるか ・本研究課題の遂行によって、より広い学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果が期待できるか 	2. 研究方法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか ・研究目的を達成するための準備状況は適切であるか 	3. 研究遂行能力及び研究環境の適切性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究活動等から見て、研究計画に対する十分な遂行能力を有しているか ・研究計画の遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等、研究環境は整っているか 	4. インクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン文献への関連性と貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画がインクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン研究の発展に関連するものか ・研究がインクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン文献に多大な貢献が期待できるか
評定要素	項目										
1. 研究課題の学術的重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか ・研究課題の核心をなす学術的「問い」は明確であり、学術的独自性や創造性が認められるか ・研究計画の着想に至る経緯や、関連する国内外の研究動向と研究の位置づけは明確であるか ・本研究課題の遂行によって、より広い学術、科学技術あるいは社会などへの波及効果が期待できるか 										
2. 研究方法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか ・研究目的を達成するための準備状況は適切であるか 										
3. 研究遂行能力及び研究環境の適切性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究活動等から見て、研究計画に対する十分な遂行能力を有しているか ・研究計画の遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等、研究環境は整っているか 										
4. インクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン文献への関連性と貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画がインクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン研究の発展に関連するものか ・研究がインクルーシブ・リーダーシップおよびインクルージョン文献に多大な貢献が期待できるか 										

	採択された課題については、CIL ホームページにて研究課題名およびアブストラクト（研究概要）、研究者名（研究メンバーを含む）を公表します。
7. 申請方法・スケジュール	<p>(1)申請締切 2022年4月30日(土) 締切りを過ぎてからの提出・差し替えは一切受け付けません。</p> <p>(2)申請方法 所定の申請書を CIL 事務局（リサーチ・オフィス）（centers@apu.ac.jp）にメール添付にて提出してください。</p> <p>* 申請書は以下の CIL ホームページからダウンロードできます。 https://www.apu.ac.jp/cil/</p> <p>(3)結果通知 2022年6月（予定）にメールで申請者（研究代表者）に通知します。</p>
8. 採択された場合の義務	<p>(1) 研究費の執行を適正に行うため、研究代表者は執行開始までに事務局による執行ガイダンスを受けること。</p> <p>(2) 採択されたプロジェクトの研究代表者は、CIL の研究メンバーとします。</p> <p>(3) CIL は、AP カンファレンスのインクルーシブ・リーダーシップセッションまたはCIL スペシャルセッションのようなイベントでの研究の発表やイベントへの参加等を求めることがあります。その場合は可能な限り参加することを求めます。</p> <p>(4) 2022 年度末に進捗報告書（2000 字以上）を作成し、CIL に提出すること。提出された進捗報告書は Annual report や CIL ホームページに掲載します。進捗報告書の書式は採択者へ追って配布します。</p> <p>(5) 2023 年度中に採択研究課題について他機関等が開催する学外の学会にて少なくとも一回は発表すること。発表する学会は特に指定しません。</p> <p>(6) 助成期間終了後 1 か月以内に終了報告書（2000 字以上）を作成し、CIL に提出すること。</p> <p>(7) 助成期間終了後 1 ヶ月以内に査読付きジャーナルに論文を投稿もしくはワーキングペーパーを CIL に提出すること。 また、ワーキングペーパーを提出したものは、提出から 3 か月以内に査読付きジャーナルに論文を投稿すること。</p> <p>※ワーキングペーパーは CIL のホームページにて公開します。CIL が公開するワーキングペーパーは出版可能な研究論文であり、著作権は著者に属します。掲載後、ジャーナル・書籍等での出版されることによる著作権の関係上、当サイトより論文を取り下げる必要が生じた際には公開を停止します。</p> <p>(8) 本助成による研究成果について学会発表または論文発表を行った場合、CIL に報告を行うこと。また、発表の際は助成を受けていることを謝辞で述べること。</p> <p>(9) 本助成による研究成果に関連する全ての出版物を CIL に提出すること。</p> <p>※上記の義務を履行しなかった場合、本助成の執行を停止し助成金の返還を求めることがあります。あわせて今後の CIL の各種プログラムへの申請資格を停止することがあります。</p>
9. 申請書類および個人情報の取扱い	<p>(1) 申請書類等の提出物は本助成に関する事務処理でのみ使用します。</p> <p>(2) 提出物の返却は行いません。</p> <p>(3) 申請書類等より取得した個人情報は、選考以外には使用しません。</p>

【お問合せ先】 CIL 事務局
(リサーチ・オフィス)
e-mail : centers@apu.ac.jp